

一般社団法人日本ファームステイ協会よりご案内

## 【臨時号 JPCSA 通信】

2022年2月3日発行

会員各位

一般社団法人日本ファームステイ協会事務局です。  
いつも当会の活動にご理解頂き、誠にありがとうございます。

今回は臨時号として、下記をお知らせいたします。

### ◆令和4年度「農水省農泊関連予算 オンライン説明会」

#### 【開催主旨】

アフターコロナに向けた環境下、農泊地域（新規・既存）に対して、農泊関連予算や品質評価支援制度を積極的に活用することで、本格的な交流再開に向けた事業推進および品質やモチベーションの向上に繋げることをねらう。

【開催日】2月9日（水）14:00～15:30

【対象】農泊協議会関係者（事務局・事業者等）、行政関係者、観光関係者 等

#### 【プログラム】

14:00-14:05 開会

14:05-14:30 令和4年度農水省関連予算の説明

①農泊推進対策 ②農山漁村発イノベーション対策 ③地域活性化対策（関わり創出事業）

14:30-15:10 農泊品質評価支援制度についての説明

JPCSA 品質評価支援研究所所長 青木 辰司氏（東洋大学名誉教授）

15:10-15:30 質疑応答

【開催方法】Zoomウェビナーにて開催致します。

申込みは[こちら](#) (Google フォーム)

【問合せ】(一社)日本ファームステイ協会 事務局（担当 前場）

メールアドレス：[zemba@i-znk.jp](mailto:zemba@i-znk.jp)

### ◆日伊国際農山漁村セミナー〈オンライン版〉を開催します！

日本ファームステイ協会 × ジャン・カルロ・ダッラーラ先生

2022年日伊国際農山漁村セミナー〈オンライン版〉

～岩手県八幡平地域が「アルベルゴディフーズ タウン」と

「オスピタリタディフーサ」認証へ～

日伊国際農山漁村セミナーチラシ[こちら](#)

#### 【目的】

一昨年度、当協会と「観光による持続可能な農山漁村を目指す共同宣言」を採択した、アルベルゴ・ディフーズの提唱者、イタリアのジャン・カルロ・ダッラーラ先生を迎え、オンラインウェビナーを開催いたします。

岩手県八幡平地域が「アルベルゴディフーズ タウン」と「オスピタリタディフーサ」認証へ向け、ダッラーラ先生からは、イタリアの農村観光、アルベルゴ・ディフーズの現状と可能性をご披露いただき、日本からは、コロナ禍における日本で生まれつつある新たな農山漁村における観光需要や地域の動向をご講演いただき、日伊双方の今後の農村観光、「農泊」の可能性などについて理解できるセミナーを開催いたします。

©MAFF「農泊」は農林水産省の許諾を得て使用しています。

参考：<https://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/nouhakusuishin/syouhyou.html>

**【日時】** 2022年2月15日(火) 15:00～17:00(イタリア時間 8:30～11:00)

**【主催・共催・後援等(予定)】**

主 催：(一社)日本ファームステイ協会

共 催：株式会社八幡平 DMO

後 援：観光庁 / 八幡平市

協 力：アルベルゴ・ディフーズインターナショナル極東支部

**【開催方法】**

・「Zoom」ウェビナー

・オンライン会場：ノーザングランデ八幡平

**【対象/参加費】**

・日本ファームステイ協会正会員、自治体会員、賛助会員

・アルベルゴ・ディフーズ、および農泊による地域活性化に関心のある自治体、行政および事業者、研究者

・参加費：無料

**【定員】**

・300名程度

**【お申込み】**

・専用ページからお申込みお願い致します。

お申込みは[こちら](#)(Googleフォーム)

<QRコード>



**申込締切日：2月12日(金)**

\* 担当窓口：080-4002-7494(事務局：全国農協観光協会 金子)

**【プログラム】**※タイムスケジュール、テーマは調整中のため変更になる場合があります。

15:00 開会宣言

**岩手県八幡平市長 佐々木 孝弘 様 ご挨拶 (現地にて予定)**

15:10 **国交省観光庁観光地域振興部観光資源課 星 明彦様 ご講演 (オンライン予定)**

テーマ：<「既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業」について、日本における農村観光(地域観光)の可能性及び国の取組、観光コンテンツの高付加価値化のポイント>

15:30 **上山 康博 JPCSA 代表理事 ご講演 (現地にて予定)**

<テーマ:コロナ禍においても日本で生まれつつある新たな農山漁村における観光需要や地域の動向>

16:00 イタリアより、ジャン・カルロ・ダッラーラ会長 ご講演 (オンライン予定)

<テーマ:イタリアの農村観光、アルベルゴ・ディフーゾの現状と可能性>

ダッラーラ会長への質疑応答

17:00 閉会

**【登壇者について】**

登壇者について、開催内容における高いご知見をお持ちで観光分野への造詣が深く、なおかつ登壇者や発言者等の男女比率に偏りが無いよう女性パネリストにもご登壇の打診を行ってまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い調整がつかず、最少人数での実施となり、前述のとおりのご登壇者による人選となりました。

**【新型コロナウイルス感染症対策について】**

オンラインの配信会場となるノーザングランデハ幡平では、当協会発行の「農泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン」31 ページに記載しているイベント開催等に係る基本的な感染防止策の内容に準拠します。

農泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン(第4版)については[こちら](#)

具体的に、会場内では、一般来場者は入館できない貸し切りとし、関係者最少人数での開催を心がけ、マスク常時着用・大声を出さないこと・基本的な感染防止(手洗・消毒・換気・密集の回避・身体的距離の確保・飲食の制限・参加者の制限・参加者の把握(全員検温等のチェックリスト提出)など)を徹底して実施いたします。

## ◆多様な地域資源の更なる活用に関する農泊推進研究会

地域資源を活用した食事や体験・交流プログラムを提供する「農泊」については、全国的に取組が定着する一方、コロナ後の田園回帰など中長期的な需要への期待を踏まえ、質量両面でその充実が求められています。

そこで、第3回目となる今回も、農泊関係者、観光事業者などで構成される本研究会にて幅広い情報共有を行い、次の時代の農泊のあり方を考えます。農泊経営にご関心のある皆さまのご参加をお待ちしております。

「多様な地域資源の更なる活用に関する農泊推進研究会」に関する詳細は[こちら](#)

**【日時】** 2022年2月25日(金) 9:30~11:30

**【開催方法】** ZOOMウェビナーにてオンライン開催

**【主催】** 農林水産省

**【聴講方法】** Web 事前申込制・無料(オンライン聴講のみ)

※お申込み完了の方へ、2/24(木)に聴講用 URL をお知らせします。

**【お申込み】**・専用ページからお申込みお願い致します。

お申込みは[こちら](#)

<QRコード>



申込締切日:2月23日(水)

**【プログラム】**

- 9:30 **開会挨拶**  
関係省庁より関連施策の説明（農水省、観光庁、環境省、文化庁）
- 9:35 **意見とりまとめと今後の方向性の報告**  
（1）報告事項  
・令和3年度の調査・プロモーションの取組  
・研究会意見とりまとめと今後の方向性
- 9:55 （2）意見交換（60～90分）  
R4年度の研究会開催予定  
その他
- 11:30 **閉会**

=====

発行：一般社団法人日本ファームステイ協会事務局

〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-17-2

（TEL：03-3526-2493 / FAX：03-3526-2494）

ホームページ URL はこちら：<https://jpcsa.org/>

問い合わせ先 E-mail：[info@jpcsa.org](mailto:info@jpcsa.org)

=====